

2025 年度サマーセッション開講

「フィールドワーク(自治体行政の現在)」

受講者募集について

2025 年 6 月 25 日

法学部教務委員会

法学部政治専攻では、実習科目として「フィールドワーク(自治体行政の現在)」をサマーセッションに開講します。この科目は、自治体での実地調査を通じて、自治体の政策や行政について学ぶとともに、実地調査(フィールドワーク)の調査手法を習得することを目的としています。

調査にはある程度の時間が必要なため、夏休み期間中を利用することになります。そのため、夏休み前に履修登録者を確定しておく必要があります。

そこで、以下の日程で「フィールドワーク(自治体行政の現在)」の受講者の選考を行います。この科目の履修を希望する学生は、下記の指示にしたがって、履修申込書(志望理由書を含む)を提出した上で面接に臨んでください。選考の結果、受講を許可された学生だけが履修することができます。

履修申込書(志望理由書を含む)は、この文書に添付されています。受講上の注意および申込上の注意も記載してありますので、よく読んで下さい。

履修説明会：7月3日(木) 12:00~13:00(お昼休み) 場所：2201 教室

★説明会の資料については K-smapy II を通じて配布する予定ですが、当日直接質問したい場合などは教室にお越しください。

履修申込書提出期間：7月3日(木)~7月8日(火) 正午

★提出先：稲垣 浩(inagakih@kokugakuin.ac.jp)宛てにメールにて提出

履修者の決定：第一次審査(書類選考)と第二次選考(面接)を行います。

第二次選考(面接)については、書類選考通過者と個別に日程を調整します

★面接は対面又はオンライン(Zoom)または対面で行います。

(履修申込書に、希望の面接方法を明記してください)

最終選考結果発表：メールにて個別に通知

実地調査日：8月26日(火)~28日(木) 2泊3日

※調査日は後日調整予定。ただし参加必須

受講に関する相談・連絡先

本科目担当 稲垣 (inagakih@kokugakuin.ac.jp)

履修方法については、藤嶋 (rfujishima@kokugakuin.ac.jp)



2025 年度 フィールドワーク（自治体行政の現在）受講上の留意点

1 提出物（単位取得には、以下のすべての提出物を最終的に提出する必要があります）

- （１） 調査研究構想と質問票（様式等は別途指示します）
- （２） 調査記録レポート（主に、聞き取り調査の内容等をまとめたもの）
- （３） （１）（２）をもとに、任意の自治体との比較や文献調査を含む最終レポート（6000 字程度（資料、図表等含む））

2 調査対象の自治体について

本年度の調査対象自治体は北海道当別町ですが、現在のところ当別町での調査は受け入れ先の事情により実施できない可能性があります（7 月 2 週目ごろに判明）。その場合は、神奈川県横須賀市での実施となります。

3 学習の流れ

この授業では、実地調査することを通じて、フィールドワークの手法を学び、自治体の政治・行政についてより深い理解と考察ができるようになることを目指します。

本年度は、北海道当別町を基本的な調査対象として実施します（但し、上記の様に神奈川県横須賀市に変更する可能性あり）。調査対象となる当別町は、札幌市の近郊にある人口 15000 人ほどの主に大規模な農業が盛んな街です。また、以前から町内の住宅地開発が機縁となっており、スウェーデンとの交流も盛んです。近年では、札幌市に近いこともあって、移住者も増えてきました。一方で、この街には北海道医療大学という大学が 1974 年からあり、多くの教職員や学生が町内外から通っていましたが、一昨年同町から移転することが発表され、それによる居住人口の減少など様々な影響が当別町に発生することが懸念されています。

神奈川県横須賀市は、神奈川県東部に位置し、人口 370000 人ほどの中核市です。市内には米海軍基地や海上自衛隊の基地があるほか、日産自動車の工場もあり、関連産業が発達してきました。また、三浦半島の広大な農地や相模湾に面した豊かな漁場をもち、地域福祉や人権の問題などにも早くから取り組んでいます。一方で、近年では人口の顕著な減少や日産の移転問題、谷戸での空き家問題など課題も山積し、今後の動向が注目されています。

以上の自治体について、問いや仮説、質問事項を作成し、実際に聞き取り調査を行います。具体的な学習の流れは、以下の通りです。

（１） 事前準備（履修決定から授業開始までの期間）

① 各学生による準備

学生がインターネットなどを通じて、事前に当別町（又は横須賀市）の特徴、社会経済状況などについて予備リサーチを行います。

② 事前学習会と当別町（又は横須賀市）関係者からの事前ヒアリング

調査についての事前学習会を行います（日程は後日調整）。当日は、当別町（又は横須賀市）の関係者から同町の状況についての説明があり、学生は、政策を研究・立案するのか研究構想を検討・作成し、現地での取材調査に向けての準備作業を行います。

③ 聞き取り対象の決定と質問票の作成

当別町（又は横須賀市）では、主に現地の関係者や団体などを訪問し、聞き取り調査を行います。そのために、各自の研究構想に基づいて聞き取りの対象や内容を決定し、作成した研究構想と質問票を提出します。

(2) 現地調査

① 当別町（又は横須賀市）では、基本的に参加者全員で当別町役場（又は横須賀市役所）をはじめとした現地での視察と聞き取り調査を行いますが、一部時間の都合などで別々に分かれて調査を行う場合もあります。

② 終了後、約1週間以内に現地調査先で得られた情報と、情報をもとに自身の研究について考察したレポート（調査記録レポート）を作成・提出してください。

※共同調査は、新型コロナウイルスの流行状況等により、オンライン調査に切り替える場合があります。

(3) 最終レポートの提出

共同調査終了後、実地調査の結果を踏まえ、任意で設定した他の自治体との比較分析や、関連文献の調査を行ったものをまとめた最終レポートを提出してください（締切は別途指定）。

4 費用・調査日程について

調査研究に際して必要な諸費用（交通費・宿泊費等）は、原則として自己負担となります。

共同実地調査日については、履修者の都合による代替日は設定しないので、スケジュールを確保するなど、各自の都合等十分に検討してください。

2025 年度 フィールドワーク（自治体行政の現在）

履修申込書

学 年	学籍番号	氏 名	
メールアドレス(1 日1回以上見るもの。携帯可)		携帯の電話番号	希望する面接方法

※「希望する面接方法」欄には、対面又は Zoom のいずれかを記入してください。

関心のある自治体の政策分野を二つ選び、記入してください。

- () 経済政策 例) 商店街の活性化、工場などの企業誘致、雇用や労働、農産物の栽培・流通・六次産業化、など
- () まちづくり・観光政策 例) 移住促進、道の駅などの観光施設の運営、アートを用いたまちづくりなど
- () 政治・政策 例) 議会や町長などの政治活動、財政運営、行政改革、庁舎などのインフラ設備など
- () 医療・福祉政策 例) 住民の健康管理、高齢者福祉や地域包括ケア、障害者の社会参加、児童福祉や保育など
- () 教育政策 例) 小中学校の統廃合、生涯学習、高校や大学との連携など
- () 交通政策 例) 鉄道やバスなどの公共交通の整備、新駅の設置、まちづくりとの連携など

このほかに調査したい政策分野がある場合には、下記に記入してください。

()

面接日は、個別にメールで調整します。Zoom の場合の URL 等は、後日指示します。

【注意事項】

- ・選考方法および申し込みの手続について質問がある場合には、稲垣(inagakih@kokugakuin.ac.jp)までメールしてください。
- ・申込者への連絡はメールで行いますので、メールアドレスは正確に記入してください。
- ・履修を許可された場合には、大学所定の学生保険を購入してもらいます。購入方法については、履修許可を通知するときに指示します。また、調査研究に際して必要な諸費用(宿泊費、交通費等を含む)は、原則として自己負担となりますが、詳細については履修者説明会で説明します。
- ・スケジュールについては、「受講上の留意点」をよく読んで下さい。



横須賀市イメージキャラクター
スカリン



当別町イメージキャラクター
「とべのすけ」

志望理由書

☆表面で①・②をつけた政策分野を選んだ理由と具体的な内容について説明してください。

(①について)

(②について)

☆表面で「このほかに調査したい政策分野」を記入した場合、その内容と理由を説明してください。

☆ この授業への志望動機と、参加を通じてどのような事を学びたいか記入してください(できるだけ具体的に)。